

「食」の未来へ、持続可能な社会を目指した活動の実施

(株式会社 日本アクセス)

食品卸企業である株式会社日本アクセスでは、持続可能な開発目標（SDGs）に向けて、食品ロス削減の対策を含めた地球環境・次世代育成等の社会貢献の活動を実施。

食品ロス削減（食品を無駄にせず、人が消費）の取組

PHASE 1：ロスを出さない

➤ 的確な発注管理

需要予測精度の向上、的確な発注・管理、期限の長い商品・長期保存可能な包材の採用など、商品開発を通じた対策を実施。

➤ 廃棄ロスを削減するための商品開発

ミールキットの冷凍商品化により、店頭での販売期限及び賞味期限を延長。

使いきりタイプの商品のため、消費者も無駄なく使える

〈冷凍ミールキット〉



PHASE 2：売りきる

➤ 必要な消費者へ直接販売

倉庫在庫で過剰になった商品や終売となった商品在庫を売りきるため、インターネット販売により、消費者が直接購入可能。また、できる限り賞味期限までの期間を残すよう、計画的に販売。

〈インターネット販売サイト〉



PHASE 3：配る

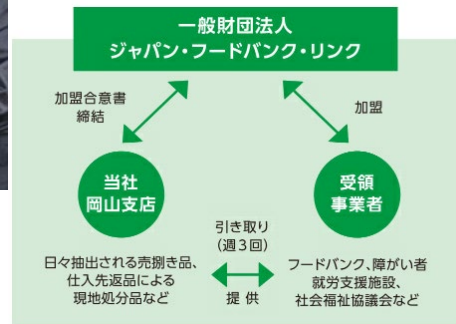
➤ 必要な人へ寄付

売りきれの見込みがない安全な食品は、フードバンクへの寄付や社内にて配布。



取引会社の株式会社ハローズの仕組み（ハローズモデル）を参考に、寄付を実施。

PHASE 4：リサイクル



□ 2030年までに、2016年度実績に対して食品ロスを含む食品廃棄物の排出量を半減させる目標を設定。

年度	実績				目標	
	2016	2017	2018	2019		2030
食品廃棄物排出量(ton)	753.0	692.8	607.3	587.0	~	374.6
前年比		92%	88%	97%	~	96%
対2016年度	100%	92%	81%	78%	~	50%